

研究主題

高等学校「家庭基礎」における 課題解決学習の指導に関する研究

「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を通して

【研究担当者】 川原 恵 理 子
【この研究に対する問い合わせ先】
T E L 0198-27-2814 F A X 0198-27-3562
E-mail kagaku-r@center.iwate-ed.jp

- 1 はじめに
この研究は高等学校「家庭基礎」において、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料の作成を行い、課題解決学習の充実に役立てようとするものです。
- 2 高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に関する基本構想
本研究を進めるにあたり、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習を文献調査（舟木，1992，工藤・内野，1997など）に基づき、教師が生徒に生活課題を見出すことを意図的に仕組み、主体的に生活の課題解決を目指して実践する学習活動ととらえました。
「ホームプロジェクト」とは生徒自身の家庭生活について、「学校家庭クラブ活動」とは学校や地域の生活について、それぞれの課題を見出し、自ら解決方法を考え、計画を立て、主体的に生活の充実に役立てるため、「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料を作成しました。
- 3 指導資料の内容
指導資料は、課題解決学習の指導に役立てるため、授業での「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導・評価に重点をおくことをねらい、作成しました。さらに、ホームプロジェクトの指導段階を、事前・中間・事後指導の三段階に集約しました。指導資料の内容を【表1】に示します。

【表1】指導資料の内容

ホームプロジェクト		学校家庭クラブ活動	
指導段階	指導資料の内容	「授業活用型」の指導	研究・広報活動の指導・展開例 ボランティア活動の指導・展開例 交流活動の指導・展開例
事前指導	年間学習指導計画 取組手順や方法 事前指導の要点		
中間指導	取組の中間指導方法 短時間でできる発表会		
事後指導	相互評価の方法 事後指導の要点		

4 「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導資料

(1) ホームプロジェクトの指導資料

ア 事前指導資料の一例

ホームプロジェクトの事前指導で活用する指導資料の一例です。教師が生徒に生活課題を見出させることをねらいとして作成しました。指導資料には、教師を支援するために、吹き出しで指導の留意点やポイントを示しました。

1 家庭の生活課題チェック表

はいかいいえに をつけましょう

		はい	いいえ
子どもの成長	1	普段から家の手伝いをしている	
	2	家族とのコミュニケーションを大切にしている	
	3	自分の将来を考えている	
	4	子どもの育つ環境について考えたことがある	
	5	家族はみんな健康で元気である	
食生活と自立	6	食べ物の好き嫌いをせず、何でも食べている	
	7	自分でご飯と味噌汁を作ることができる	
	8	地域の食材を使った調理をすることができる	
	9	1日に必要な食品の種類と量が分かる	
	10	冷蔵庫の中は整理整頓されている	
衣生活と自立	11	自分でボタン付けができる	
	12	目的に合わせた衣服の選択をしている	
	13	洗濯の洗剤の量を知っている	
	14	衣服の表示の意味を理解している	
	15	着なくなった服は再利用するようにしている	

家庭の生活課題チェックで、自分の家庭の生活課題を考えさせる


チェック項目は、中学校技術・家庭科家庭分野の四つの学習内容を五つの領域に分けて構成した

指導資料は、指導段階ごとに、指導のねらいと評価規準を合わせて設定しました。教師が評価規準に合わせ、生徒の記述を評価できることをねらいとして作成しました。

評価の例				
評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している				
評価規準	十分満足できる (A)	概ね満足できる (B)	努力を要する生徒への支援	評価方法
家庭生活の生活課題を見出し、その解決を目指して思考を深めている (思考・判断・表現)	家庭生活の生活課題を見出し、解決を目指して具体的に方法を考え、思考を深めている	家庭生活の生活課題を見出し、その解決を目指して、思考を深めている	生活課題が見出せない生徒には、他の生徒の発表を参考にして考えさせる	「私のホームプロジェクトファイル」への記述

イ 中間指導資料の一例

ホームプロジェクトの中間指導で活用する指導資料の一例です。中間指導は、長期休業中に期間と場所を設定して行いました。取組の段階で疑問を抱いている生徒や、意欲的に取り組もうとしている生徒のための中間指導を支援することをねらいとして作成しました。

<p>質問 お弁当のおかずが工夫がない。彩りもよくないので、お弁当に適するおかずを考えたい。どのように進めたらよいか。</p> <p>助言例 毎日のお弁当のおかずにはどんな食材が入っているか実態調査し、その中で足りない食品群は何かを考える。また、お弁当のおかずの条件として、彩りや調理方法など、どんなものがあるか調べる。</p>	
--	--

ウ 事後指導資料の一例

ホームプロジェクトの事後指導で活用する指導資料の一例です。ホームプロジェクトの発表を短時間で相互評価できることをねらいとして作成しました。ホームプロジェクトの発表を聞いた生徒が発表者を評価して付せん紙に記入し、相互評価シートに貼る方法です。一人の発表に対して一枚の付せん紙に、良かった点を記入させます。

1 付せん紙を用意する
ピンク色と水色の付せん紙を用意し、生徒に配っておく。

ピンク色

水色

2 相互評価をする
内容、発表、提言シートが良かった点はピンク色の付せん紙に記入する。

「お弁当のアイデアが良かった。私も真似て実施します。」

アドバイスがある点は、水色の付せん紙に記入する。


もう少し大きい声だったら、もっとよかったと思います。

See 7 相互評価をする

発表者：〇〇〇

評価方法：発表の良かった点を付せん紙に記入し、相互評価シートに貼ります。
付せん紙に自分の感想を記入し、発表者の付せん紙に貼ります。
発表者が発表した付せん紙をこのシートに貼ってください。

1 内容が良かった



3 付せん紙を貼る
発表者の「私のホームプロジェクトファイル」の相互評価シート (p.11, 12, 13, 14) を、黒板などに貼っておくと、各自が付せん紙を貼り付けやすい。

ホームプロジェクトの事後指導で活用する指導資料の一例です。短時間で発表会を実施するために、生徒が取り組んだホームプロジェクトの実施内容と、その結果を中心に発表できることをねらいとして作成しました。取組結果を今後につなげさせるため、発表の最後に提言シートで表現させます。

短時間でできる発表会

方 法	<ol style="list-style-type: none"> 1 発表会前に、生徒用教材「私のホームプロジェクトファイル」のp.9の発表会用レポートを作成させる <ul style="list-style-type: none"> ・1人2分間以内で発表することを話しておく ・時間を計って発表者に知らせる（30秒前で合図など） 2 実施の写真や図、実物がある場合には、紹介させる 紹介の方法：実習室などで発表会をする場合、実習室にテレビやプロジェクタがあれば、写真や図、実物をビデオカメラで撮影して映し出す 3 提言シートにまとめ発表させる
------------	--

1 発表用レポートの作成

2分以内で自分のホームプロジェクトを発表できるように内容をまとめさせる。

「提言シート」では家庭生活向上のためにできることの部分を発表させる。

2 発表会

自分の実施したホームプロジェクトの様子がわかる写真や実物などがある場合には紹介させる。

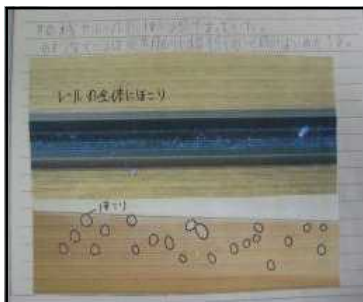
実施前と実施後の紹介



作成した資料の紹介



実施内容や結果の紹介



See 5 ホームプロジェクトを発表する

名 前 学 科 年 級

○発表用レポートの作成
2分以内で自分のホームプロジェクトを簡潔でわかるように内容をまとめ「提言シート」では家庭生活向上のためにできることを発表する

1 題目→生徒用教材p.9を参考に記入する

方法

この項目を記入する

○実施内容(実物、写真があれば提示する)→生徒用教材p.9,10,11,12を参考に記入する

ホームプロジェクト実施内容

→生徒用教材p.9,10,11,12を参考に記入する

→生徒用教材p.13,14を参考に記入する

2 提言シート

家庭生活の向上のためにできること

のために

を実行します

3 提言シートにまとめ発表する

家庭生活向上のためにできることを発表させる。



テレビやプロジェクタがあれば、ビデオカメラで撮影して紹介する方法もある

- (2) 「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導資料
「授業活用型」学校家庭クラブ活動の指導資料は、指導例と展開例があり、ここでは展開例の一部を紹介します。授業で活用できるように、指導例、指導のねらい、関連する活動・学習内容、準備する教材・教具、製作後の活用、作り方、評価の例を盛り込んで作成しました。

学校家庭クラブ活動の展開例					
指 導 例	・基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、学校や地域生活に役立てる ・ホームルームや特別教室のカーテンの修繕を行う 授業時間：1～2時間				
指 導 の ね ら い	基礎縫いでカーテンタッセルを製作し、快適な住環境を整える工夫を考えさせる				
関連する活動・学習内容	研究・広報活動 (2) 生活の自立及び消費と環境 ウ 住居と住環境				
準備する教材・教具	布縦36cm×横20cm 2枚、ひも12cm 4本、ミシン、アイロン、裁縫道具（手縫いの場合は手縫い針と糸）				
製作後の活用	・学校では、カーテンタッセルが壊れたり、紛失したりしたホームルーム・特別教室などで使用する ・地域生活では、幼稚園・保育所や高齢者福祉施設などに寄贈し、使っていただく				
<p>作 り 方 （手縫いでもミシンでも製作できます）</p> <p>- 製作の前に - 教室や特別教室のカーテン生地を調べ、カーテンタッセルに適する布、色を考えさせる。余り布や家庭での不用被服に適するものがあれば活用させる。カーテンがほつれていたり、壊れていたりする場合は修繕させる</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 布地に、裁断する所、1cmの縫い代、ひも付け位置の印を付ける 2 布を裁断する 3 ひも付け位置に、ひもを縫い付ける【図1】 4 中表にしてまち針で止め、返し口を残して縫う。縫い始めと縫い終わりは返し縫いをする【図2】【図3】 5 角を四カ所切り落として、表に返し、返し口を縫う 					
<p>【図1】 ひもを縫い付ける</p> <p>【図2】 完成品</p> <p>【図3】 返し口を残す 角を四カ所切り落とす</p>					
<p>評 価 の 例</p> <p>評価規準は平成25年度入学生から年次進行で実施される学習指導要領に合わせて作成している</p> <table border="1"> <tr> <td>方 法</td> <td>学習シートへの生徒記述</td> </tr> <tr> <td>評 価 規 準</td> <td>B 快適な住環境を整えるための工夫について考えている</td> </tr> </table>		方 法	学習シートへの生徒記述	評 価 規 準	B 快適な住環境を整えるための工夫について考えている
方 法	学習シートへの生徒記述				
評 価 規 準	B 快適な住環境を整えるための工夫について考えている				

- 5 おわりに
指導資料は、高等学校「家庭基礎」における課題解決学習の指導に役立てるため、授業での「ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動」の指導・評価に重点をおいて作成しました。研究内容の詳細は、当センターWebページに掲載しておりますので、ご活用ください。